広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER
リーダーたちの本棚 VOL.44

偉人たちの生き方に魅了されときを忘れて読みふける

READING 何度も読み直したい作品たち

読書の楽しさを知ったのは、モーリス・ルブランの怪盗ルパンシリーズや、アーサー・コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズでした。やがて大人向けの推理小説を読むようになり、中でも高木彬光さんの作品群に夢中になりました。自宅の本棚には全作が並んでいます。『刺青殺人事件』や『成吉思汗の秘密』など数々の傑作がありますが、東大生による闇金融が手形を↖で読みます。とくに西郷隆盛の腹心だった村田新八が好きで、時間に余裕ができたら彼を研究してみたいと思っています。戦国物では、『徳川家康』に感銘を受けました。家康は、身内の命を犠牲にする冷酷さを持ち、敵に情をかける懐の深さを持ちます。長い人質生活や幾多の戦いを通じて身につけたその処世術こそが、徳川家繁栄の源だったのだと思います。豊臣家を残そ↙詐欺を働いた「光クラブ事件」を題材とする『白昼の死角』は、冒頭から犯人が正体を明かす斬新な展開や、戦後日本の混沌とした社会情勢を背景に、法の死角をついて次々と企業人を陥れていくだましの手口の巧妙さに驚かされました。無敗の犯罪歴を重ねた主人公をはじめ、彼を愛した女性や、だまされる側の人々の心理描写は見事で、自己顕示欲、ずるさ、弱さ、人間のいろんな性を浮き彫りにしていきます。奇想天外な詐欺の多くは実際にあった事件だそうで、著者が当事者に直接取材し、法知識を深めているからこそ生々しく感じられました。

私は鹿児島県出身なので、司馬遼太郎さんの『翔ぶが如く』など、薩摩藩士を描いた本も好んうとしていたという解釈も新鮮でした。高木彬光作品と全26巻の『徳川家康』をじっくり読み直すことも、やってみたいですね。

壮大な歴史長編 続編にも飛びついた

次は、五木寛之さんの『親鸞』です。五木さんの作品は、60年代に書かれた『さらばモスクワ愚連隊』『青年は荒野をめざす』などの印象が強かったのですが、何十年かぶりに『親鸞』が目に留まり、読んでみたら大変面白かった。親鸞が幼かった頃から物語が始まり、乞食坊主や遊び女など社会の底辺にいる人々との心の交流や、比叡山で「仏とは何か」を自問する日々、運命の女性との出会い、浄土宗の師である法然との問答などがいきいきとつづられます。親鸞の命を狙う黒面法師という悪役も登場し、物語の展開は活劇的ですが、法然が親鸞に伝えた「善人なほもて往生をとぐいはんや悪人をや」という、いわゆる「悪人正機説」や、「南無阿弥陀仏」を唱えれば極楽浄土に行けるという浄土宗、のちの浄土真宗の教えの本質に近づく手がかりがちりばめられている気がします。親鸞の地方修行時代を描いた『親鸞 激動編』も読みごたえがあり、老年時代の親鸞を描く続編が待たれます。

中国通の親しい方に勧められて読んでとりこになったのは、『蒼穹の昴』です。糞拾いの李春児が、「おまえは紫禁城に仕え、天下の財宝を手にする」という預言者の言葉を信じて自ら去勢し宦官となり、西太后の信望を得て高位に上りつめていく物語です。欧米列強にむしばまれていく清国の情勢とからめながら、李鴻章、袁世凱、康有為、孫文、伊藤博文など実在の人物の個性も鮮やかに描かれます。この本をきっかけに中国の歴史に興味を持ち、北京に赴いた際にゆかりの地を訪ねたりもしました。続編の『中原の虹』では、「爆殺事件」でしか知らなかった張作霖の人間的魅力に引きつけられました。『蒼穹の昴』『珍妃の井戸』『中原の虹』『マンチュリアン・リポート』と、シリーズで読むことをお勧めします。

自社の福祉事業で重なる小倉昌男さんの思想

私が経営書をよく読むようになったのは社長になってからですが、業種によって成功要因は違うと思っていました。ただ、宅配ビジネスの生みの親である小倉昌男さんは、ご本人への興味もあってその著書『経営はロマンだ! 私の履歴書』を手に取りました。読むと、「顧客第一主義」「現場主義」など、学習塾経営に共通することがたくさんありました。学習塾にとって顧客とは、生徒さんや親御さんです。そして、経営者である私自身が、教育の「現場」を回り、新しいニーズや課題を見つけていかなければならないと思っています。また、小倉さんは、第一線を退いたのち、身銭を切って障害者支援の福祉事業に打ち込まれました。当グループには、障害者の雇用促進を目指す「市進アシスト」という会社があり、入試問題のデータ入力や、帳票類の電子データ化などの業務を行っています。その活動目的は、「利益を出す仕組みを作り、低賃金で雇用されていた人たちに、より良い報酬を還元する」という小倉さんの思想と重なります。社長になるまで経営書をそれほど多く読まなかったのは、歴代経営者が築いてきた「市進」独自のサービスに対する信頼もありますし、自分が経営に携わるとは思っていなかったということもあります。でも、本書を読み終わってみると、マーカーの印やふせんがたくさんついた一冊となっていました。

市進ホールディングス 代表取締役社長

下屋俊裕さん
しもやとしひろ

首都圏を中心に、小中高生を対象とした学習塾「市進学院」「市進予備校」「個太郎塾」や、映像授業「市進ウイングネット」などを展開する市進ホールディングス。昨年5月に代表取締役社長に就任した下屋俊裕さんは、指導プログラムの質の強化、幼児教育や高齢者福祉事業への進出など、経営改革を進めている。「子供にとって、勉強と同様に読書も大切。読みたい本を自ら探させることも大人の務めだと思います。私の場合、本好きになるきっかけは推理小説でした」。紹介してくれた書は、小説中心のラインアップとなった。

LEADING

「垂直・水平展開の成長戦略」を推進

1965年に千葉県市川市の個人学習塾からスタートした市進ホールディングス。生徒一人ひとりの能力を見極め、力を発揮させていく「めんどうみ合格主義」を伝統とし、小中高生を指導する「市進学院」は、1都4県に129拠点を有する。多様化する教育ニーズに合わせ、現役高校生の学力向上に特化した「市進予備校」、個別指導の「個太郎塾」、家庭教師派遣の「市進チューターバンク」なども展開する。「当社の講師は、集団授業でも個別指導でも、専門の指導スタッフによる研修を受け、これをクリアしなければ現場に出ることはできません。正社員の講師は3カ月以上の研修を経て教壇に立っています」と下屋さん。研修の徹底は、1つの授業で全生徒が完璧に理解できるまで教えきることを目的としている。一方で、「本当に授業を理解しているのか、個別に見てほしい」という保護者の声も多く、今後はこれに応えていく。

「個々に質問を受けたり面談をしたりするための〝めんどうみの時間〟を授業とは別に設けることにしました。指導の質に対して自信過剰にならず、保護者や生徒のニーズに応じて、めんどうみをより徹底させていきたいという思いです」

少子化に対応すべく教育事業を多角化

一昨年に持ち株会社制へと移行した同社は、「垂直・水平展開の成長戦略」を掲げ、多角化を推進する。背景には、少子化による市場規模の縮小がある。

「従来型の〝学習塾〟にとらわれない事業展開が急務の課題です。そのために、昨年から今年にかけて布石を打ってきました」

サービスの対象年齢を広げる〝垂直展開〟としては、学研ホールディングスとの業務・資本提携により、幼児教室「ほっぺんくらぶ」を導入したほか、小学校受験の「桐杏学園」をグループに加えた。

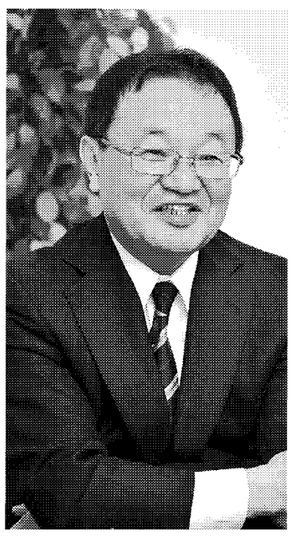
「学研グループは、科学実験教室、英語講座、高齢者福祉事業、出版事業、海外事業などにおいてもコンテンツやノウハウを持っており、教材の共同開発や、講師や社員の交流を通じてシナジーを高めていきたいと思います」

〝学習塾以外の業態に参入する〟水平展開〟としては、日本の学校や企業への進学・就職を目指す海外留学生を対象とした日本語学校「江戸カルチャーセンター」や、高齢者向け住宅サービス事業を行う「友友ビレッジ」を子会社化。映像授業「市進ウイングネット」を活用した海外展開も視野に入れる。

「従来の枠にとらわれず、総合教育サービス事業へとかじを切ります」

若き日は、市進の講師を務めていた下屋さん。教壇に立つ前に先輩講師の授業を見学し、理解させるための創意工夫と、生徒の熱意との化学反応に圧倒され、やりがいを確信したという。

「未来を担う子供たちに残せる最大の財産は教育だと信じます。社会に出ても力を発揮できる『自立学習』の大切さも伝えていきたいですね」



1952年鹿児島県生まれ。77年順天堂大学大学院修了。同年市川進学教室(現・市進ホールディングス)入社。97年教育本部長。01年取締役。08年常務。10年副社長・市進ウイングネット社長。11年5月から現職。同年江戸カルチャーセンター社長。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、下屋俊裕さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com 朝日新聞 広告 検索

下屋俊裕さんがすすめる5冊

『経営はロマンだ! 私の履歴書』(日本経済新聞出版社) 小倉昌男・著
宅急便を生み出してヤマト運輸をトップ企業に押し上げ、私財を投じて障害者福祉の世界で活躍した硬骨無比の経営者が、その生き様と哲学を語る。生い立ちや青春の日々、駆け出し会社員時代、経営の低迷期、行政との闘いなども振り返る。

『蒼穹の昴』全4巻(講談社) 浅田次郎・著
占師の予言を信じて宦官になろうと決心した貧しい農民の子・春児。科挙の試験に合格し、官吏となった春児の兄貴分・文秀。それぞれの志を胸に歩み始めた二人を待ち受ける宿命の覇道。中国清朝末期を壮大なスケールで描く大作。

『親鸞』上・下巻(講談社) 五木寛之・著
浄土真宗の開祖・親鸞の生涯をドラマチックにつづる。河原坊浄寛、ツブテの弥七、法螺房弁才など魅力あふれる人々との交流を描きながら親鸞の修行の足跡をたどる。『親鸞 激動編』(上・下巻)は、流刑地・越後での暮らしを追う続編。

『徳川家康』全26巻(講談社) 山岡荘八・著
剛気と知謀で大平の世を開いた徳川家康。その誕生から、今川家での人質生活、父・松平広忠の非業の死、武田氏との戦い、織田信長、豊臣秀吉ら有力武将との攻防、大坂の陣など、激動の戦乱期を走り抜いた70余年の生涯をつづる歴史長編。

『白昼の死角』(光文社) 高木彬光・著
主人公の鶴岡七郎は、明敏な頭脳にものをいわせ、巧みに法の網の目をくぐり、完全犯罪を繰り返す天才的知能犯。警察の追及をかわしきった犯罪者の視点から、その悪行の数々を冷徹に描く。主人公のモデルとなった人物を語った秘話を収録。

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1 http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
◎書籍の詳しい内容は弊社HPをご覧ください。◎価格はすべて税込み。

知的生きかた文庫
安保 徹の最新刊&ベストセラー
新潟大学大学院医学部教授
疲れない心をつくる免疫力 最新刊
ISBN978-4-8379-8155-8 ●600円
好評既刊
疲れない体をつくる免疫力 45万部突破!! ISBN978-4-8379-7883-1●600円
病気にならない体をつくる免疫力 ISBN978-4-8379-7930-2●600円

一流の男、二流の男
必ず頭角を現す男の条件
たとえば、〝はったり〟だって男の武器になる
里中李生
ISBN978-4-8379-2420-3 ●1000円
28万部突破!!

最新刊
いますぐ"徹底改善"!
お金を稼ぐ人が30代で「やめたこと」
20代の延長線上では収入は絶対上がらない!
田口智隆
ISBN978-4-8379-2476-0 ●1365円

アマゾンUK「ビジネス書」「自己啓発書」ベストセラー(2012.11)第1位
最新刊
「感情」と「理性」の心理法則
ぶれない生き方
スティーブ・ピーターズ ジョン・キム[訳]
ISBN978-4-8379-5738-6 ●1260円
本書の「CHIMPメソッド」こそ「心のスキルアップ」の超・決定版! ——訳者 ジョン・キム(『媚びない人生』著者)

成毛 眞
ISBN978-4-8379-2468-5 ●1260円
5万部突破!
このムダな努力をやめなさい
日本マイクロソフト元社長が説く 人生を消耗しない生き方
なぜ、「しなくていい努力」までするのか?
努力してもすべてが報われるわけではない——。
もうそろそろ、その〝真実〟を言ってもいい時期ではないか。
私は本書で、「ムダな努力をやめる」方法を教えたいと思う。
誤解しないでほしいが、「人生をあきらめろ」といっているわけではない。
むしろ、「自分の人生を生きろ」といいたいのだ。(本文より)
この〝ムダ〟に食いつぶされるな
■どんどん"妥協"せよ、あっさり"朝令暮改"せよ
■人に好かれるための努力なんてしない
■スケジュールを"埋める"ことに満足する二流
■セミナーに通うくらいなら、とことん本に投資する
■職場では「勝ち目のないケンカ」をしない
■無理して"社交的"になる必要などない
■バカは本当にうつる——付き合う人間は厳選せよ
写真=岡倉禎志

王様文庫
腹を凹ます体幹力トレーニング ISBN978-4-8379-6657-9●630円
読むだけで ねこ背が治って心も体も強くなる! 一義流気功治療院院長 小池義孝 ISBN978-4-8379-6649-4●580円
目とからだのお医者さんが教える 1日5分! 視力がみるみる良くなる本 本部千博 ISBN978-4-8379-6647-0●680円